

第1回射水市総合計画審議会 会議録

○日 時 令和3年12月15日（水） 午後7時～8時30分

○場 所 クロスベイ新湊2階 iCNホール

○出席者

（委員）

明石あおい、朝倉あゆみ、飯山進、岩口久梨果、上田秀永、牛塚松男、大坪清治、大西宏治、荻浦明希子、尾山春枝、加治幸大、門田晋、川原辰弥、木田和典、古池清一、笹川征一、鈴木真由美、高市洋介、塚本清、津田奈由子、釣谷隆行、中崎圭子、樋上正之、二川由利子、牧田和樹、松本三千人、松本吉晴、宮城克文、宮田妙子、宮田雅人、森由佳子、亙建邦

（当局）

夏野市長、磯部副市長、金谷教育長、島多市民病院長、園木議会事務局長、小塚企画管理部長、一松財務管理部長、桜川市民生活部長、小見福祉保健部長、宮本産業経済部長、島崎都市整備部長、橋本上下水道部長、夏野会計管理者、原教育委員会事務局長、吉岡監査委員事務局長、木田消防長、中野市民病院事務局長、杉本企画管理部次長、盛光政策推進課長、坂井財政課長

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員及び職員の紹介
- 4 会長及び副会長の選出

事務局	会長の互選について意見はあるか。
委員	この審議会は、射水市の将来の計画を策定する重要な審議会であり、見識があり、大所高所から判断できる方がよいと考える。富山大学教授の大西委員でいかがか。
事務局	ただいまの発言に異議はあるか。 (異議なし)
事務局	それでは、大西委員に会長をお願いしたい。拍手をもって承認いただきたい。 (拍手)
事務局	副会長の互選について意見はあるか。
委員	副会長には、日頃から地域連携を推進されている富山県立大学鈴木委員にお願いしてはどうか。
事務局	ただいまの発言に異議はあるか。 (異議なし)
事務局	それでは、鈴木委員に副会長をお願いしたい。拍手をもって承認いただきたい。 (拍手)

5 諮問

6 議事

(1) 射水市総合計画審議会運営要領（案）

事務局	※資料1-1に基づき説明
会長	事務局からの説明について質問、意見はあるか。 (発言なし)
会長	ないようであれば、この運営要領を原案のとおり決定してよいか。 (異議なし)
会長	それでは原案のとおり承認させていただく。今後は、要領に規定されているとおり、全体会と部会で運営していく。各委員は審議会への協力をお願いする。

(2) 部会構成員及び部会長の指名

会長	各部会に所属する委員は、審議会条例の規定により会長が指名することとなっている。勝手ながら私の方で所属部会を決めさせていただく。 (事務局より部会構成の資料を各委員に配布) 委員各位は、資料のとおり専門部会に所属し、関係事項について審議をお願いする。 続いて私の方から部会長を指名させていただく。未来創造部会は松本三千人委員、安全安心部会は鈴木真由美副会長、活力元気部会は牧田和樹委員にお願いしたい。なお、副部会長は、部会長が指名することとなっているので、事務局と調整いただきたい。
----	---

7 関係資料の説明

事務局	※資料2から資料6に基づき、一括して説明
会長	説明に対して質問や気になる点等はあるか。
委員	資料2の4ページに「地域で支え合う体制づくり」とあるが、全般的な地域づくりについての記述となっている。今後、計画を策定していくに当たっては、地域福祉の観点を捉えて協議していただきたい。また、5ページのSDGsについて、現段階でも多方面で取り組まれていることは承知しているが、とりわけ子どもたちの教育、指導といった観点がますます重要になってくる。次代を担う子どもたちがしっかりと意識を持たないとなかなか達成できないと思う。市の個別計画との整合について、整合をとることは必要であるが、既存の計画に縛られることが心配される。どのようにクリアしていくか伺いたい。
会長	策定の留意点のうち、5番目、10番目、11番目について意見、要望があった。各担当部局から回答をいただきたい。
事務局	5番目の地域で支え合う体制づくりについては、おっしゃるとおりである。この方針に基づき、どのように基本構想、基本計画に記載をしていくか、部会でも協議いただきたい。10番目のSDGsについて、現在は市の施策にSDGsのゴールを紐づけ、あらゆる施策がこのゴールに向かっていることを示している形となっている。専門的な知見がある方から意見を伺うなどして、総合計画の中でどの

ような位置付けにしていくのか、審議会、部会で検討いただきたい。11番目の市の個別計画との整合性についてもおっしゃるとおりである。総合計画は、市の最上位計画であり、個別計画の内容をどのように総合計画に反映していくのか、あるいは総合計画で示す内容をどのように個別計画に反映させていくのか、検討させていただければと思う。

会 長

SDGsについての委員の質問は、教育の重要性についてであった。小中学校や高校の教科書にはSDGsが入っており、学校教育の中で十分に取り上げることに
はなるのだが、個別具体的なこととして、目の前にある事象をSDGsとして捉えていくという意味で、射水市の教育の中でうまく取り上げられていくような取組は必要だと思う。部会で提案されるといい。個別計画との整合性については、上位の計画が総合計画になるので、まずは総合計画の中で理想的な在り方を考えていき、そこからすり合わせていくことになるのではないかと。

8 意見交換

会 長

自身が思い描く今後の射水市のまちづくりについて、どのような観点でも構わないので発言いただきたい。

まずは、自ら関わろうと思って参加されている公募委員の方に一言ずつお話し
いただきたい。

委 員

ずっと新湊で暮らしてきたが、周りの同級生その他若い世代が市から離れていく
ことを日々感じており、将来的に戻ってきてほしいと考えている。この先、射水市
がどのような方向に向かっていくのか、自分でみて感じて勉強したいと思ったこと
が公募のきっかけである。

会 長

まちづくりの方向性を決める総合計画の策定に携わっていくという意識をもって
臨まれているので、今後の色々な発言に期待させていただきたい。

委 員

5年前まで射水市の消防士をしていた。今は消防団員として地域の安全を守る活
動をしている。皆さんと一緒に良いまちづくりを目指したいと思って委員に応募し
た。

会 長

消防団活動も難しい問題がある中で、安全なまちを考えて参加されたということ
で、色々な観点からのご意見をお願いしたい。

委 員

射水市に転居したのは13年前で、長距離トラックのドライバーをする傍ら、ス
キーのインストラクター、中国語の通訳や日本語講師もやっている。コロナ禍から
の回復の影響等による原油価格の高騰や、雪が降らないことが目立つなど気候変動
を肌で感じており、SDGsや地球温暖化に興味を持っている。SDGsの取組が
地球環境、生態系の大きなカギを握っていると考え。持続可能な社会、特に気候
変動を抑えなければ、農業・漁業にも大きな影響を与える。20年後、30年後の
将来を見据えると不安しかない。SDGsを基礎として各施策を策定していかないと
無駄になってしまうのではないかと。これを全面に打ち出すことで、他の自治体を
リードできないか。どの部会での審議事項にもSDGsが関連する。

会 長

環境問題に関心を持ち、公募委員になられたということで、色々な意見を期待し
ている。

委 員

小杉駅近くで神主をしている。小杉まちづくり協議会や地域振興会に携わって
おり、歴史や伝統文化、芸能を次世代に継承する取組に参加している。実感するの
は、射水市には多くの若い方が転入しているが、地域社会に結びついていない。こ
こを結びつけていきたい。若い方が楽しく参加し、自分のやりたいことを提案し、
みんなと一緒に取り組んで、課題を乗り越えた時の感動を共有するための仕組み
づくりを進めていきたい。また、その実現のために地域団体をみんなで支える仕組

会 長	<p>みづくりについて、知恵を出し汗をかいていきたいと思い参加した。</p> <p>色々な取組をしていく中で感じている課題を克服し、より良いまちにする仕組みや方法をここで議論したいとのことなので、部会等で積極的に発言いただければと思う。</p>
委 員	<p>公募委員に発言いただいた。皆さんの中には発言したい方もいたかと思うが、終了の時刻も近づいてきた。意見があれば机上の様式等を利用し、随時事務局に送っていただければと思う。</p>
事務局	<p>議事については以上となる。次回の開催について事務局より説明をお願いします。</p> <p>次回審議会は、2月2日午前10時から、射水市役所3階会議室での開催予定で調整している。近日中に案内文書を差し上げる。</p>

9 閉会

以上